

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【公表番号】特表 2004-529317(P2004-529317A)
【公表日】平成 16 年 9 月 24 日 (2004.9.24)
【年通号数】公開・登録公報 2004-037
【出願番号】特願 2002-546241(P2002-546241)
【国際特許分類第 7 版】
G 0 1 S 13/22
【F I】
G 0 1 S 13/22

【手続補正書】
【提出日】平成 15 年 6 月 17 日 (2003.6.17)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項 1
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 1】

例えば車両用のパルスレーダ法において、

タイムフレーム (20) の所定のタイムスロット (21) 中にレーダセンサ (1) によって、少なくとも 1 つのレーダパルスを送出して 1 つまたは複数のエコー信号を受信するステップと、

前記のタイムフレーム (20) の残りのタイムスロット (22, 23, 24) 中にレーダセンサ (1) により、妨害信号が発生しているか否かを監視するステップと、

タイムスロット (21, ..., 24) 毎に発生する妨害信号に基づいて、前記レーダセンサ (1) がその送信および受信動作を引き続き前記の所定のタイムスロット (21) に維持すべきか、または前記のタイムフレーム (20) の残りのタイムスロット (22, 23, 24) のうちの 1 つに換えるべきかを判定するステップと、

妨害の少ないまたは妨害のないタイムスロット (21, ..., 24) を探し出した後、前記レーダセンサ (1) により、当該レーダセンサのつぎのタイムフレーム (20) における送信および受信動作を、タイムフレーム (20) 内で同じ時間的な位置を有するタイムスロット (21) にて行い、測定サイクル内の引き続きの測定に対して当該タイムスロットを維持するステップとを有することを特徴とする

パルスレーダ法。